

# 月刊 なゆき

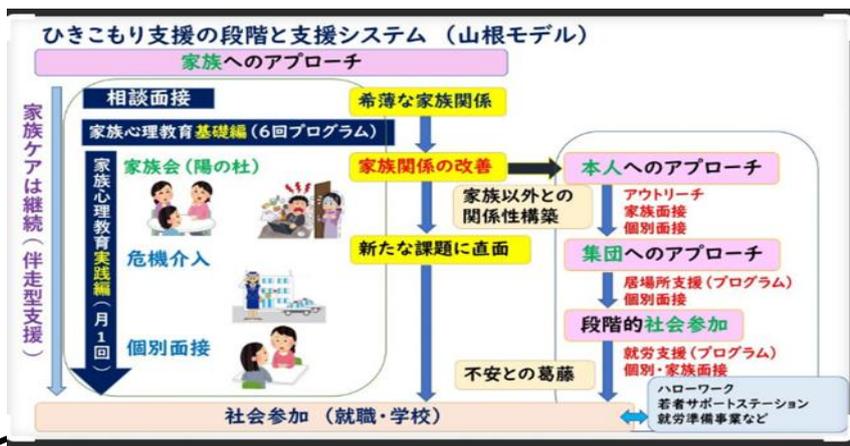


## ◆事業拡大にむけて 心機一転◆

なゆきでは、精神疾患やひきこもり家庭への支援ニーズ増加に対応し、心理教育を提供する専門スペースを設置して支援体制の強化を図る事業を計画しています。

補助金の採択を得られれば、今年の秋頃から開始予定です。

↓↓↓ ひきこもり支援のモデル ↓↓↓



### 山根モデルの特徴

- 家族から相談を受け、他機関に繋ぐのではなく、第1段階から第4段階まで一体的に支援をすることで伴走型支援を行っている。
- 特に家族支援に力を入れ、家族心理教育(基礎編6回プログラム+実践編(1回/月))の開発によって家族関係に変化をもたらすのが特徴である。
- いきなりアウトリーチ(本人支援)を行うのではなく「希薄な家族関係」から「家族関係の改善」に移行した時点で本人支援を行っていく。その際も家族支援は継続し、家族と共に歩みだしたひきこもり者をサポートしていく。
- さらに「暴力」等によって親が疲弊しているなど危機介入が必要とされる場合は、個別面接でサポートしながら関係機関と連携して解決を図っていく。
- 8050問題においては、地域包括支援センター等からの相談を受けた段階で、カンファレンス等を実施し、スーパーバイズしている。つまり、ひきこもり支援者の支援も行うことで包括的支援体制の構築を図っている。

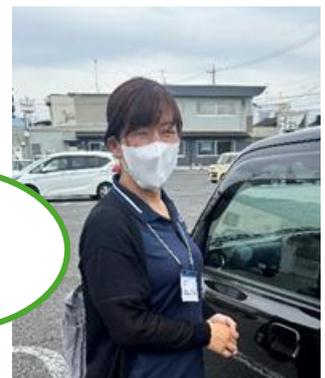
もちろん、従来の訪問看護ご利用者さまの受け入れも承っています！  
まだまだ空きがございますので、何でもご相談ください！

## なゆきのニューフェイス



24歳の若  
きエース

事務職員 福島さん  
精神保健福祉士の資格も持っています！



夢多き  
乙女

精神看護専門看護師 大蔵さん  
短期間だけど心強い助っ人！

随時  
スタッフ募集しています。  
地域看護にご興味がある方、  
とりあえずでもご連絡ください。  
あなたに合った働き方、  
一緒に考えましょう。